

SUZUCHU VOL.8 NOW

●発行日 2007年1月1日
 ●発行 鈴鹿中央総合病院
 ●編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会
 〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53
 TEL 059-382-1311
 URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/
 ●編集協力 TCK名古屋

SUZUCHU NOW Vol.8 2007 冬

●発行日 2007年1月1日 ●発行 鈴鹿中央総合病院

●編集 鈴鹿中央総合病院広報委員会 〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花1275-53 TEL 059-382-1311 URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/ ●編集協力 TCK名古屋

院内 知っ得! 辞典

災害対策委員会
整形外科医長
佐藤 憲史



災害対策の取り組み

平成7年1月17日阪神・淡路大震災から12年が経過しました。しかし、「災害は忘れたころにやってくる」との如く、いつ、何処で発生するかわかりません。その為には、平素から災害に対する組織化した訓練や啓発により、災害の予防と人命の安全及び被害の軽減を図り、被災者に最大限の医療を提供する必要があります。

災害対策委員会

大規模・広域災害が発生したことに伴う、地域災害拠点病院としての病院の役割使命を認識し、機能の維持や災害医療の対応の強化を図っております。

当院は、平成9年から災害拠点病院としての指定を受け、2年毎に、震度6強の地震発生を想定して全職員対象に、災害訓練を実施しています。多数の負傷者がたとの想定にて、暫定対策本部、対策本部を立ち上げ、模擬患者を実際に救急車で搬送し、治療の優先順位(トリアージ)や各治療班・臨時病棟班・情報班など役割分担にて対応の強化を図っています。机上訓練では、災害時のビデオによる啓発や災害時に備えた模擬訓練などを行っています。また、災害対策マニュアルも整備し、定期的に改訂しながら、全職員が一丸となって対応できるようにしております。今後も、災害訓練を積み重ね、地域の皆さまが安心して治療を受けられるよう研鑽して参りたいと思っております。

道

その先にあるもの
 高度医療を提供し続けるために

鈴鹿中央総合病院



ご意見にお答えします!

Q 先日のテレビで「日本の医療のこれから」というテーマで議論をされておりましたが、その中で高齢者の負担増、高度医療行為の問題について貴院ではどのようなお考えですか。

A 高齢者の自己負担増は、受付窓口でもよく聞かれますが、決して無駄な医療はしていませんし、国の方針に従って医療行為を行っています。高度医療行為の有無は、末期ガンや脳卒中など、疾患により異なりますが本人もしくは、キーンになる家族の方が意思表示をして頂ければと思います。

Q 朝の7:00頃ですが、正面玄関からバス停付近、厚生棟前までの所でタバコの吸い殻が目立ちますが、灰皿など置く手法はないのですか。

A 現在敷地内全面禁煙にはなっていませんが、将来的にはする予定です。以前、駐車場から来る人のために玄関先横側に灰皿が置いてありましたがそれも撤去しました。今の時代に人が集まる所は禁煙になっていきますし、健康を預かる病院としてすぐわなないと考えていますが、ポイ捨てなどには本当に苦慮しています。

誌面でクッキング

花粉症の予防に効果のあるレシピ

忘年会や新年会などで不規則な生活が続いていませんか? 栄養バランスが崩れるとアレルギーになりやすいと考えられています。バランス良い食生活を心がけましょう。

※スペースの関係で誌面での紹介レシピは1品になります。

今号ご紹介のメニューは次の3品です。

- 鮭のソテーミニトマトソース
- ほうれん草のミモザサラダ
- フルーツヨーグルト



管理栄養士 勝谷 真裕美 (かつやまゆみ)



鮭のソテーミニトマトソース (材料2人分)

生鮭	2切れ (160g)	にんにく (みじん切り)	1片
塩・こしょう	適量	赤唐辛子 (みじん切り)	1/2本
小麦粉	適量	しょうゆ	小さじ1
ミニトマト	200g	酒	小さじ1
油	大さじ1.5	青じそ	4枚

<作り方>

1. 鮭はそぎ切りし、塩、こしょうをふって小麦粉を薄くまぶす。ミニトマトはへたを取る。
2. フライパンに油大さじ1を熱し、1の鮭の両面をこんがり焼いて取り出す。
3. 2のフライパンに油大さじ1/2を足してにんにくと赤唐辛子を炒め、香りが出てきたらミニトマトを加え、つぶしながら3~4分炒めAを加えひと煮立ちさせる。
4. 3に2の鮭を戻し、青じそをちぎって加え、ひとまぜして火を止め、器に盛る。

TOP画面→ 患者さま→ NEWS&TOPICSの体にやさしいレシピでもう2品をご覧ください。 http://www.miekosei.or.jp/2_sch/

Salon de news

- 秋の防災訓練
- 神戸高校定時制より福祉機器の寄贈
- ボランティア懇親会開催

からだの春夏秋冬

花粉症

院内【知っ得!辞典】

災害対策委員会

誌面でクッキング

花粉症の予防に効果のあるレシピ



SALON DE NEWS

鈴木ニュース

神戸高校定時制生徒会は、平成18年11月15日、16日の両日に文化祭を開催し「夜間、学校でケガをした時などにお世話になっている鈴鹿中央総合病院に福祉機器を贈ろう」と募金を呼び掛け、集まった募金と生徒会の寄付により、手押し車と杖を寄贈して頂きました。

寄贈された手押し車は病院の玄関ロビー、杖はリハビリテーション科に配備され、毎日多くの患者さまに活用されています。生徒会の皆さん

神戸高校定時制より福祉機器の寄贈がありました

秋の防火訓練を実施しました

11月16日(木) 14時30分、4階東病棟器材庫から出火を想定し、火災非常ベルを発報させ、出火場所の確認から情報伝達、初期消火、消防署への通報、患者さまの非難・誘導等一連の訓練と、消火栓・消火器による初期消火実技訓練を行い、職員約50名が参加して実施いたしました。

ボランティア懇親会開催



病院ボランティアとは、外来受診入院中の患者さまのお手伝いをして頂いている方です。車イスの介助や再来受付機の補助などを行い患者さまのスムーズな受診を支えて頂いております。今回の意見交換では、患者さまからの声として活発な意見もたくさん頂き、大変有意義な会で、病院としても今後の対応、改善等に役立てたいと考えています。貴重なご意見ありがとうございました。

心のもっと贈り物に職員一同感謝申し上げます。

鈴鹿中央総合病院がこの地へ新築移転し14年が経過。これまで地域を支える急性期医療を提供する基幹病院として、またこの二次医療圏(※1)で唯一の地域医療支援病院と認定された高度医療施設である。今号では新年にあたり、濱田院長に鈴鹿中央総合病院の“これから”を伺った。



院長 濱田正行



その先にあるもの

高度医療を提供し続けるために

医療の“器”と人。

「今年はずいぶん整備が挙げられます。災害拠点病院(※2)としての機能をさらに充実させます。災害はいつ何時起きるかわかりません。そのための準備は万全でなくてはなりません。院内ライフラインの確保はもとより発電システムなど非常時に稼働しなくては意味をなさないものです。第1にヘリポートの整備を行います。現在のヘリポートでは対応しきれない大型緊急ヘリコプターの離着陸が可能となり、万一の災害時にも一度に多数搬送できますので機能が格段と向上します。」

「第2に、病院へのアクセスとなる道路の整備が重要です。急性期を担う

もう一つの、大切なこと。

それは再点検。「今年10月には日本医療機能評価認定施設として第3



う鈴鹿中央総合病院がこの地に新築移転した意義の1つに中勢パイパスの計画があり、県や市の計画も進捗がない状況でしたが長い交渉の末、あり、ようやくその整備も進められてまいりました。おそらく今年中には着工しはじめる予定です。」と濱田院長。大地震などの災害が予測されるこの地で鈴鹿中央総合病院が平成9年に災害拠点病院として指定され、万一の時の安心の拠点として、施設の充実はもとよりスタッフの充実を図ってきた。今号の取材では、地域を守ることを使命とした濱田院長の強い意志と医療人としての役割を明示するものと考察した。

回目の更新となり今まで行ってきたことへの評価がくだされます。この機会に鈴鹿中央総合病院全体の再点検を図ります。再点検はハードのみならずソフト、すなわち“人の再点検も重要です。医療人として、実践する医療サービスは良質でなくてはなりません。また患者さんに納得していただける医療サービスでなくてはならないのです。そのためにも再度自身の点検を行ない、接遇をはじめとした医療サービスの向上を図ることが大切だということ。もう一つは、この地で二次救急を担う病院としての役割を全うし救急医療の推進を図るため、救急医療体制の強化と整備をすすめていくことです。当院では年間4,000件あまりの救急車搬入があります。このうち36%強が入院治療を要します。一方、救急外来での取り扱い件数は年間18,000件あります。この全体患者数で見ますと入院治療を要する患者さんは16%に留まっています。かかりつけ医の先生からの紹介、救急隊による搬送、そして鈴鹿市応急診療所からの紹介が本来の二次救急に当たります。近年医療を取り巻く環境も厳しく、特に医師確保に困難を強いられ、病院勤務医の疲弊が続く中、医師1人にかかる負

担を考えますと全ての患者さんを受入れることが困難な状況にあります。一次救急の患者さんばかりつけ医の先生にご相談いただくか応急診療所をご利用いただくようお願いいたします。」と濱田院長。昨年12月発行の“広報鈴鹿”でも濱田院長はこの件を語られている。現在、全国的にもこうした環境下では医療の質の確保さえも難しい状況にあり、医師の36時間48時間労働と過労働が顕著である。私たちが良質な医療を受けるためにも、私たち患者側がこうした現状を理解し正しい医療のかけ方を考えなければならぬ。

取材・撮影 TCK名古屋

こちら解説室

※1 二次医療圏

特殊な医療を除く一般の医療需要で、主として病院における入院医療を提供する体制の確保を図る区域。

※2 災害拠点病院

24時間緊急対応し、災害発生時に被災地内の傷病等の受け入れ及び搬出を行うことが可能な体制を有する(傷病者の受け入れ拠点になりうる。ヘリによる傷病者、医療物資等のピストン輸送を行える)消防機関と連携した医療救護班の派遣体制があり、ヘリコプター搬送の際には、同乗する医師を派遣できる。

からだの

「花粉症」よくある質問をご紹介します。

〈耳鼻咽喉科 角田貴継〉

Q1 今年の花粉の飛散予想は?
A 今年のスギ・ヒノキ花粉は例年の8割〜半分ほどしか飛ばないことが予想されており、症状も軽くなると思われます。スギ花粉の飛び初めは2月10日頃と思われます。

Q2 妊娠中です。花粉症がひどいのですがいい方法は?
A 胎児に与える影響を考慮して治療は慎重になります。妊娠4ヶ月の半ばまでは、原則として薬物を用いるのは避けられた方が安全です。まず、鼻への温熱療法(入浴、むしタオル、蒸気吸入器など)やマスク着用を試してみましよう。妊娠4ヶ月以後で、どうしてもという場合には点鼻薬を最小量用いましょう。

Q3 注射が効くって本当?
A ステロイド(副腎皮質ホルモン)の筋肉注射のことを指していると思われまます。「本で治る花粉症の注射」として話題に上ることも多いようですが、一方で1ヵ月以上もステロイドの影響を受け続けることにより副作用が10人に1人程度の高い確率で出現します。副作用の症状として注射痕のただれ、生理不順、免疫力の低下、骨粗鬆症、顔面のむくみ、糖尿病の悪化などがあり、最近では

Q4 普段の予防法は?

- 1 風の強い日は外出を避ける
- 2 帰宅後は洗顔やうがいをし、鼻をかむ
- 3 外出時には、花粉症用のマスク、帽子、めがねカバーやゴーグルなどを着用する
- 4 目の細かい生地のコートなど、花粉が付着しやすい衣類を身に付ける。帰宅時は衣類をよく払ってから家に入る
- 5 窓や戸をしっかり閉める
- 6 外で干した布団や洗濯物は取り込む前によく払う
- 7 室内をこまめに清掃する

他に、鼻粘膜の状態を悪くするストレス、睡眠不足・飲みすぎなどを避けることです。セルフケアと医師による診断、薬剤を上手に組み合わせる花粉症の季節を快適に過ごせるように努力しましょう。

SUZUCHU 外来診療担当表

診療科目	診察室	月	火	水	木	金
内科	1診 新患	濱田正行(循)	山本伸仁(呼)	澤井俊樹(循)	宮原真敏(循)	藤田 聡(循)
	2診 新患	向 克己(消)	川上惠基(血)	渡辺泰行(血・免)	高木幹郎(腎)	岡野 宏(消・肝)
	3診	西村 晃(肝)	西村 晃(肝)	西村 晃(肝)	山本伸仁(呼)	西村 晃(肝)
	4診	岡野 宏(消・肝)	渡辺泰行(血・免)	北井珠樹(循)	市川和秀(循)	澤井俊樹(循)
	5診	山本伸仁(呼)	向 克己(消)	川上惠基(血・免)	濱田正行(循)	高木幹郎(腎)
	7診	宮原真敏(循)	佐瀬友博(消)	市川和秀(循)	齊藤知規(消)	宮原真敏(循)
	8診	藤田 聡(循)		向 克己(消)	川上惠基(血・免)	北井珠樹(循)
	9診	北井珠樹(循)	藤本 源(呼)(大学医) 午後のみ診察		石川英二(腎)(大学医)	小林裕康(呼)(大学医)
	10診	北野滋久(腫)(大学医)				
	眼科	1診	有馬美香	有馬美香	大学医	有馬美香
2診		坂倉美佐	坂倉美佐		坂倉美佐	坂倉美佐
午後		手術	予約検査	予約検査	手術	予約検査
小児科	1診	篠木敏彦	西 英明	西 英明	西 英明	岩尾 篤
	2診	新藤啓司	新藤啓司	岩尾 篤	篠木敏彦	新藤啓司
耳鼻咽喉科	1診 予約再来	角田貴継	新患のみ	藤田祐一	藤田祐一	角田貴継
	2診	藤田祐一		大学医	角田貴継	藤田祐一
	午後		手術	手術	午後予約検査	手術
呼吸器外科	1診		水野幸太郎	深井一郎		深井一郎
心臓血管外科					駒田拓也(大学医)	
外科	1診	飯田俊雄	田岡大樹(予約)	金兒博司	佐藤梨枝	今井俊積(予約)
	2診	今井俊積	今井俊積		飯田俊雄	田岡大樹
	3診	金兒博司	佐藤梨枝	佐藤梨枝		佐藤梨枝
整形外科	1診	佐藤憲史	新美 壘	高橋明子	佐藤憲史	新美 壘
	2診	山田浩之	山田浩之	稲田 均	稲田 均	稲田 均
	3診	新美 壘	高橋明子	佐藤憲史	山田浩之	高橋明子
	午後手術	午後ギプス	手術	手術	検査	
脳神経外科	1診	川口健司	初診紹介のみ	森川篤憲	初診紹介のみ	田代晴彦
	2診	林 真人		長谷川浩一		長谷川浩一
	午後	(脳ドック) 森川篤憲		(脳ドック) 森川篤憲		(脳ドック) 森川篤憲
	午前・午後		手術・検査	アンギオ	手術・検査	アンギオ・検査
神経内科	1診					新堂晃大(大学医)
皮膚科	1診	西井倫子(大学医)初診	高木恵美子(大学医)	川端栄理子(大学医)	伊藤英明子(大学医)	川端栄理子(大学医)
産婦人科	1診 一般初診	早川滋彦	矢納研二	丹羽正幸	早川滋彦	矢納研二
	2診 (妊婦12w以降)	丹羽正幸	早川滋彦	矢納研二	丹羽正幸	早川滋彦
泌尿器科	1診(新患)	荒木富雄	荒木富雄	担当医	吉尾裕子	鈴木竜一
	2診 予約再来	吉尾裕子	吉尾裕子		鈴木竜一	荒木富雄
精神科	1診	第1月午後のみ				
麻酔科	1診	橋本 宇	橋本 宇	橋本 宇	橋本 宇	橋本 宇
放射線診療	1診	伊井憲子(大学医)午後		伊井憲子(大学医)午前	野本由人(大学医)午前	
健診センター		金丸・川原田	西村・川原田	金丸・川原田	西村・川原田	1・3 金丸・西村 2・4 金丸・川原田

(19年1月1日現在)

特殊外来

レーザ治療	火・水・金曜日 午後 要予約
斜視・弱視外来	火・水・金曜日 午後 要予約

小児科

乳児健診 予防接種 ポリオ 慢性疾患外来	水・金曜日 午後 火曜日 午後 第2・4木曜日 午後 水曜日 午後
-------------------------------	--

耳鼻咽喉科

補聴器外来 予約検査	第2・4水曜日 木曜日 午後 14:00~16:00
---------------	----------------------------------

外科

ストーマ外来	木曜日 14:00~(予約制)
乳腺外来	月曜日 14:00~(予約制)

整形外科

リウマチ科 肩関節外来	水・金曜日 第1・3金曜日 14:00~16:00(予約制)
----------------	--------------------------------------

産婦人科

妊婦健診 母乳外来	月~金曜日 要予約 火・木・金曜日午後 要予約
助産師外来	月~金曜日 要予約

麻酔科

ペインクリニック	月~金曜日
----------	-------

放射線診療

CT・MRI・RI・放射線治療	要予約
-----------------	-----

精神科

第1月曜日のみ午後予約制(初診)	
------------------	--

健診センター「オリーブ」

人間ドック・脳ドック・肺がんドック	
月・火・水・木・金曜日(予約制)	
*健診センターにて受付致します。	

裏面の
外来のご案内を
ご覧ください

ご近所のお医者さま

当院の登録医院を毎回5機関ずつ
紹介しております。

白子クリニック小児科



医師名
二井 立恵
伊佐地 真知子

- ◆診療科
- 小児科

- ◆特色
- http://shiroko-clinic.com/

- 休診日
- 水曜・日曜
- 診療時間(受付/診療開始30分前)
- 9:00~12:00 15:00~18:00
(土曜午後14:00~16:00)
- 所在地
- 〒510-0235 鈴鹿市南江島町6-17
- 電話 059-388-8988
- fax 059-388-1070

森下クリニック



往診可
医師名
森下 文夫

- ◆診療科
- 泌尿器科●皮膚科
- アレルギー科

- ◆特色
- 病診連携により泌尿器科のベッドをお借りして、腰椎麻酔や硬膜外麻酔で行える内視鏡的手術(経尿道的前立腺切除術や経尿道的膀胱腫瘍切除術)や陰のう水腫、精巣摘出術を行わせていただいております。

- 休診日
- 日曜・祝祭日 木曜・土曜午後
- 診療時間
- 9:00~12:30 15:00~18:30
- 所在地
- 〒513-0828 鈴鹿市阿古曾町21-7
- 電話 059-378-1331
- fax 059-378-1330

吉野クリニック



医師名
吉野 純爾
吉野さなえ

- ◆診療科
- 外科●胃腸科●肛門科
- 小児外科●小児科●アレルギー科

- ◆特色
- 診療電話予約可
急患随時受付
小児科・乳児健診・予防接種・育児・アレルギーの健康相談は電話予約(059-370-1212)できます。
web予約⇒http://www.yoshino-clinic.com/yoyaku/mob/ 駐車場無料

- 休診日
- 日曜・祝日
- 診療時間
- 9:00~12:30 15:00~18:30
(火・木午後17:00~18:30)
予防接種・健診/火・木14:00~17:30
- 所在地
- 〒513-0826 鈴鹿市住吉1丁目23-11
- 電話 059-370-0008
- fax 059-370-3210

あきながレディースクリニック



医師名
加藤公弘

- ◆診療科
- 産科●婦人科●内科

- ◆特色
- 女性専門外来クリニックです。婦人病だけでなく、女性の悩み相談もじっくり話を聞いています。子供が遊べるコーナーもありますよ。
【備考】
産婦人科専門医 健康スポーツドクター

- 休診日
- 日曜・祝日 水曜・土曜午後
- 診療時間
- 9:30~12:30 15:30~18:30
(時間外診療可能)
- 所在地
- 〒510-0258 鈴鹿市秋永町787-3
- 電話 059-380-6090
- fax 059-380-6091

河村皮膚科



医師名
河村 幸郎

- ◆診療科
- 皮膚科

- ◆特色

- 休診日
- 火曜・木曜・日曜・祝祭日・土曜午後
- 診療時間
- 9:00~12:00 15:00~18:00
(土曜9:00~12:00)
- 所在地
- 〒513-0806 鈴鹿市算所3丁目9-46
- 電話 059-378-6668
- fax 059-378-6668

地域連携NOW!!



INFORMATION

鈴鹿中央総合病院／2階講義室にて

研修会を行いました。

本研修会は、地域の医療従事者が新しい医療のあり方や見識を高めるため、毎月定期的に勉強会を行い地域医療技術向上を目的としています。

研修会報告(10~12月)

日時 平成18年10月26日(木曜日)

症例検討 「病変範囲が指摘困難であった胃癌の1例」

演者：病理／馬場 洋一郎医師

演題 「肩関節鏡」

演者：整形外科／佐藤 憲史医師

院外参加者1名 院内参加者25名

日時 平成18年11月16日(木曜日)

演題 「急性肺障害の診断と治療戦略」

演者：公立陶生病院呼吸器・アレルギー内科部長／近藤 康博先生

院外参加者6名 院内参加者31名

日時 平成18年11月30日(木曜日)

演題 「地域連携クリティカル・パス導入へのアプローチ」

演者：熊本医療センター統括診療部長 野村 一俊先生

院外参加者45名 院内参加者62名

日時 平成18年12月11日(月曜日)

演題 「手術部位感染予防策&抗菌薬の適正使用」

演者：兵庫医科大学 感染制御部教授／竹末 芳生先生

院外参加者3名 院内参加者67名

講演風景



BCT

日時 平成18年10月11日(水曜日)

演題 「熱傷の初期治療」

演者：皮膚科／野内 伸浩医師

日時 平成18年10月25日(水曜日)

演題 「COPD急性増悪」

演者：内科／山本 伸仁医師

日時 平成18年11月8日(水曜日)

演題 「小児の発熱と痙攣」

演者：小児科／新藤 啓司医師

日時 平成18年11月22日(水曜日)

演題 「骨盤骨折」

演者：整形外科／山田 浩之医師

日時 平成18年12月6日(水曜日)

演題 「小児の発疹性疾患」

演者：小児科／新藤 啓司医師

日時 平成18年12月20日(水曜日)

演題 「精神科の薬の使い方」

演者：鈴鹿厚生病院 精神神経科／川喜田 昌彦医師

SUZUCHU

リウマチHOT LINE リウマチを知ろう

リウマチとは

関節リウマチ(以下リウマチ)は主に関節の滑膜に慢性的な炎症を起こす病気です。多くの関節に腫れを伴う痛みが起これ、徐々に骨や関節軟骨が破壊され、進行すれば関節が変形し機能障害をきたすことがあります。リウマチの日本における有病率は人口の約0.6%といわれ約70万人の患者さまがいると推定されています。

リウマチが起こる原因については、未だに不明な点が多いのですが、免疫が関与していることがわかってきました。免疫とは、細菌やウイルスなどの外敵が体内に侵入してきた際、その敵を攻撃して排除することにより、体を守る防衛システムのことです。リウマチでは、外敵が侵入していないのに免疫が誤作動し、自分の関節の滑膜を攻撃し、炎症を引き起こします。症状としては、倦怠感、微熱などの全身症状、四肢の関節の痛みと腫れといった関節炎症状、朝手が握りにくいといった朝のこわばりがみられます。リウマチの炎症はよく火事にたとえられます。

火の勢いが弱いときは、容易に消火できますが、燃え広がると、消火も大変となるように、炎症も放置しておくと、多くの関節に及び、関節の破壊をきたすこととなり炎症の制御が大変困難となります。そして関節破壊が高度になれば自然修復は不能となり、手術が必要となります。以前は関節の軟骨や骨の破壊は徐々に起こるものと考えられていましたが、最近の研究により、比較的早い時期より関節の破壊や変形が起こることがわかってきました。そのため、炎症が初期のうちに、リウマチと正しく診断し、適切な治療を開始しなければなりません。このようにお話しすると、リウマチと診断された人が「そんなに早く悪くなるのか」といった不安を抱くのは当然ですが、全てが高度の身体障害にいたるわけではありません。発症後の経過としては3つのタイプに分けられます。すなわち、①良くなったり悪くなったりを繰り返し徐々に進行していくタイプ、②短期間で病状が進行するタイプ、③1~2年で軽快するタイプがあります。大部分が①のタイプで、②・③のタイプはそれぞれ10%前後といわれています。

診断には米国リウマチ学会の診断基準(朝のこわばり、3ヶ所以上の関節炎、手関節や手指の関節炎、左右対称性の関節炎、血清リウマトイド因子、皮下結節、X線上の異常所見の7項目中、4項目を満たすものをリウマチと診断する)を用いておりましたが、最近ではより早期診断を目的とした診断基準を用い、早い段階にて治療を開始しております。よく血液検査でリウマトイド因子が陽性にてたため、リウマチじゃないかしらと相談を受けることがありますが、リウマトイド因子は7項目の1つであって、陽性=リウマチ確定というわけではありません。他の疾患でも陽性にすることがあります。逆に陰性であってもリウマチと診断されることもあります。いずれにしても経験のある医師の臨床診断が必要となります。治療には薬物、手術、教育、リハビリテーションの4本柱がありますが、今回は、日本でも新薬が続々と承認され、最もホットな分野であります薬物療法についてお話ししたいと思います。



整形外科部長 稲田 均

各種サービスをご活用ください

母親教室

- 前期(妊娠4~5ヶ月) ●毎月1回/1月15日・2月19日・3月19日
- 後期(妊娠8ヶ月の終わり) ●毎月1回/1月22日・2月26日・3月26日
- 場所:どちらも2階講義室 午後1時より3時まで

乳房マッサージについても受け付けております。
※詳しくは産婦人科外来
TEL 059-384-1024まで

外来のご案内

◆診療受付時間/午前8:30~11:30

※再来受付機のご利用は
午前7:30~11:30まで

◆休診日/土曜・日曜・祝日

年末年始(12月30日~1月3日)
※救急の場合は休診日や診療時間帯に関わらず対応いたします。

◆診療申込み

初診の方および、受診する科が初めての方は診療申込用紙に必要事項をご記入の上、保険証とあわせて新患受付にお出ください。
※保険証に変更がある場合は必ず受付までお申し出ください。

◆患者さまへのご案内

- 診察券はご来院の際、必ずお持ちください。各科共通で永久使用しています。
- 毎月1回、保険証の確認を行っております。

2ヶ月以上、確認が取れない場合は再来受付機での受付ができません。

- 受診の際、お車でお越しの方は駐車整理券を会計後お出しいただき、駐車料金無料の磁気処理をお受けください。

◆紹介状をお持ちの方

●紹介患者さま専用受付を設置いたしております。紹介状をお持ちの場合は紹介受付へお越しください。また、紹介状をお持ちいただきますと、診察時間を優先させていただきます。

◆特定療養費について

●初診で紹介状をお持ちでない場合は、初診時特定療養費1,575円をいただきます。紹介状をお持ちになれば初診時特定療養費の1,575円は免除されます。

病院の理念

良質で高度な医療を提供することにより、地域の皆様に信頼され、選ばれる病院でありたい。

病院の目標

- 1.患者さまの尊厳重視と、公正な医療の提供
- 2.最新で高度な医療の提供
- 3.医師の説明と、患者さまの選択に基づく医療の提供
- 4.情報の開示と、セカンドオピニオンの推進
- 5.地域医療ネットワークの推進

地域医療支援病院 三重厚生連

鈴鹿中央総合病院

TEL (059) 382-1311